

- 巻頭言
- 世界の教科書展
「エジプトの教科書」
- 海外の教科書所蔵一覧
- 桶川市〈世界の教科書
巡回展〉のお知らせ
- 2025 年度「定例研究会」
「文教大学の授業」

約 90 年前の子どもが記した「體育簿（體操計畫）」をみて思うこと

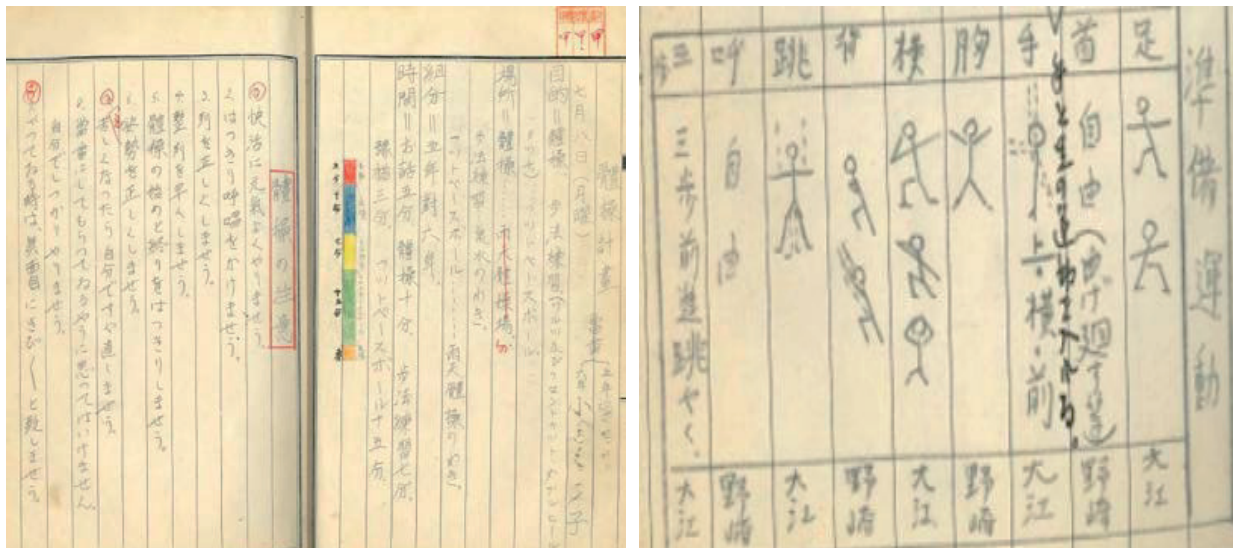
文教大学教育研究所 研修部主任 小林 稔

下の画像2点は、以前勤めていた学校からお借りした昭和10年（1935年）の小学5・6年生女子クラスの體育簿の一部である。これが書かれた後、わが国は第二次世界大戦に参入し、そして、終戦を迎え、その後、新たな学習指導要領のもと、教科「体育」がうまれたことになる。なお、体育科は、戦前「体操科」と呼ばれ、昭和16年からは「体練科」となっている。

この體育簿は、当番にあたった子どもが、授業計畫（計画）を詳細に立て、教員から朱書きコメントをもらった記録を集積したものである。つまり、体育の授業本番は、子どもたちが計画を立て、学習を進めていたことになる。この體育簿をみて、まずはこの時代に子どもたちが主体となって体育（体操科）の授業が行われていたことに驚かされる。

今でも年に何回か、学校現場に行き体育の授業を参観する機会があるが、これほどまでに子どもが自主的に行っている授業はほとんどみかけない。また、右の画像では一瞬見逃しそうなところに、「手と足の運動を入れる」と教員からのコメントが付されており、子どもの計画に対して、時間をかけ、丹念に、チェックしている教員の姿を想像することができる。

すでに約90年前に、11、12歳の子どもが自分たちで体育授業の計画を立て、授業を進めていた記録をこのように見せつけられると、戦後の学習指導要領は何だったのか、また、これまでの我々の「教育の営み」が適切だったのかを改めて考えさせられる。



2025 年度「世界の教科書展」 特集 エジプトの教科書

2025 年 11 月 1 日（土）から 3 日（月・祝日）
藍蔘祭参加 12102 教室

今回で31回目となる「世界の教科書展」は、教育研究所の特色ある取り組みのひとつである。各回のテーマとなる国や地域の教科書を展示し、その地域の概要や教育制度も紹介してきた。学内関係者だけでなく、学外からの来場者も多く、教科書展は教育の国際比較について語る場となっている。

近年の日本においてエジプトの教科書を学ぶことにはさまざまな価値がある。まず教育的観点では、日本政府と共同で進められている「日本式特別活動」（掃除、学級会、当番活動など）が注目を集めている。知識偏重からライフスキル重視への転換がどのようにエジプトに受け入れられていくのか、イスラム的価値観や共同体意識を重視する教育と日本の「個の尊重」を重んじる教育の比較など、自国教育を相対化し見直す契機となるだろう。

次に歴史的観点であるが、エジプト文明は世界史の基盤となっていることもあり、我が国の歴史とは異なる文化圏を知ることで歴史理解の幅が広がる。さらに文化的観点では、教科書の挿絵や文章から伝わる宗教観や家族観に加え、右から左に進んでいく言語表現は異文化理解を深め、アラビア語のユニークさを学ぶ教材としても有益である。ぜひ算数、数学の教科書も見てください。

その他、国際関係的観点も重要である。エジプトは中東・アフリカを結ぶ要衝であり、日本が今後交流を深める上で相互理解の基盤となる。日本で増加するイスラムの人々を理解し、今後の日本社会におけるイスラム文化との共生に必要な観点や相互尊重の姿勢を考える一歩として、今回の展示が大変意義のあるものと考えている。

教科書は次世代を担う子どもの教育を映し出すものである。「世界の教科書展」は各地の教育の現状を比較検討した研究成果の発表の場とも言える。これまでも多くの国々の教科書を紹介してきた教育研究所の伝統を踏まえつつ、今後もこの教科書展を維持し一層の発展をさせていきたい。

（研究部主任 萩原 敏行）

～ 今までに開催した教科書展ポスター ～



皆さん、文教大学教育研究所を知っていますか？

越谷キャンパスの文化祭（藍蔘祭）の期間中に《世界の教科書展》を開催しているのが教育研究所です。教育研究所には 33 か国の教科書、約 10,000 冊が所蔵されています。世界の教科書に興味があり、実際に触れてみたいという方は、ぜひ足を運んで下さい。

【10 号館 2 階：月曜日～金曜日 / 9 時～14 時】

教育研究所所蔵の 海外の教科書

教育研究所では 1991 年の創設時より海外の小学校・中学校教科書を収集している。これまでに収集した小学校教科書の内訳は下表のとおりである。また、2017 年度には公益財団法人モラロジー研究所から海外 18 か国 7,249 冊の教科書を受贈し、本研究所が所蔵している世界の教科書コレクションは 33 か国 10,293 冊となった。

研究部ではこれらの教科書をもとに各国の教育制度や教育事情を研究し、その成果を「世界の

教科書展」において毎年発表している。今年度は、ベトナムの教科書を集め、教科書実物を手に取ってご覧いただいた。

海外の教科書を収集・保管する学術機関は少なく、またそれらの購入も容易ではないため、ここ数年ではマスコミをはじめとする各方面からの問い合わせや取材申し込みが増えており、貴重な資料として注目されている。海外の教科書については、貸し出しはおこなっていないが、研究所での閲覧は自由であるため、ご覧になりたい方は教育研究所（10 号館 2 階）までご連絡のうえ、お気軽にお越し頂きたい。（程塚 聡美）

小学校 (2025/9/30現在)	国語	社会	算数	理科	生活科	総合科	音楽	美術	体育・健康	実科	英語	日本語	宗道 教徳	情報	国際 理解	その他	計
アメリカ	42	16	46	8		5										3	120
イギリス	20	12	8	12										10			62
イタリア	30	16	16	7		7		3			18		7			23	127
インド	141		5			10			7				9	15			187
エジプト	19	9	10	6	20						16		20				100
インドネシア	6	12	6	6				6	2		6		6			6	56
オーストラリア	60	7	23	18				6	10	6		3	3		1	7	144
オランダ	2	3	6	6							1					2	20
韓国	26	14	23	16	10		4	4	8	2	6		10			8	131
ケニア				3													3
シンガポール			23	13					6		5						47
スイス	2		1														3
スペイン	6	4	6	6		4					6		7	2		1	42
スリランカ	7		5								6		6				24
タイ	12	6	7	6	1	1		2	6	6	6					6	59
台湾	21	14	22	14	6	20		22	21		20						160
中国	10	11	16	15			6	5			44		6			1	114
ドイツ	8		11		20	4	2	3			17		3				68
トルコ	10	10	9	2	5		6				15		9	1		12	79
バングラディシュ	5		3								1					3	12
フィンランド	28	7	26	18							13						92
ブラジル	10	9	9	9				5			5		11			6	64
フランス		10	7								20						37
ベトナム	14	3	8	6	3		5	5	3	2			4			2	55
ポーランド	1		1	1													3
マレーシア	36	6	33	22	7		3	5	15	3	33		24	3		15	205
ラオス	10		10		10			5	5		6					5	51
ロシア	51	1	27	3	26	0	4	9	4	11	36	0	0	7		3	182
計	577	170	367	197	108	51	30	80	87	30	280	3	125	38	1	103	2,247

桶川における
「＜世界の教科書＞巡回展」

2025 年 12 月 3 日～12 月 10 日
「OKEGAWA hon+」
(桶川駅西口駅前桶川マイン 3 階)

教育研究所は「教育に関わる幅広い研究の推進とそれに基づく社会的貢献」を理念に掲げ、様々な研究活動を行っている。その活動の一つに越谷校舎における学園祭(藍蓼祭)で開催される「世界の教科書展」がある(本年は 11 月 1 日から 3 日に開催)。

この「世界の教科書展」は、2016 年度からは地域貢献の一環として、桶川市においても巡回展として開催している。昨年度は東京あだちキャンパスでも開催した。

2020 年度の中断をはさみ今年で 9 回目となる巡回展は、「OKEGAWA hon+」(桶川駅西口・桶川マイン 3 階)にて、12 月 3 日(水)～12 月 10 日(水)に開催予定である。テーマは「エジプトの教科書」である。エジプトのイスラム教育制度改革に関する研究で博士号を取られた就実大学の内田直義先生にご協力いただき、教科書の翻訳パネルを用意することができた。

教科書の実物は、12 月 6 日(土)～7 日(日)に展示される。12 月 7 日(日)には、岡山より内田先生にご参会いただき、エジプトの教育に関するレクチャーも行われる予定である。エジプトの現状や教育について、また、イスラムの文化などについて桶川周辺の地域の方たちと情報共有していきたい。

大学と地域が連携しつつ自国の教育を考えていくにあたり、様々な国の教育との国際比較は重要である。その一環として、桶川の方たちに教育研究所の活動を紹介する機会となれればと願っている。

(研究部主任 萩原敏行)

「定例研究会」発表一覧

第 108 回 8 月 9 日(土) 13:00～15:30

- ・「本を他者に紹介する」活動が持つ可能性～ピブリアバトルとブックトークの比較を通して

綾 牧子

- ・多文化共生社会の創造に向けた生涯学習の在り方ー実践方法の考察ー

坂本 陽子

- ・豊かなかかわり合いの中で、今と未来に生きる

清水 香保里

- ・基礎教育の保証～大学の情報基礎教育は変わらなくてよいのか～情報モラルの観点から

矢作 由美子

第 109 回 11 月 1 日(土) 13:00～16:00

- ・質の高い深い学びの実現化を支える要素

小幡 肇

- ・就学前教育と小学校教育とのカリキュラム接続の研究

ー1990 年代における幼保の変容と小学校教育との接続ー

梨子 千代美

- ・特別支援教育における食農教育の研究Ⅲ

木場 雪香

- ・本気で Agency を育てるには？～探究と体験の場が果たす役割～

三菅 洋輔

第 110 回 3 月 7 日(土) 13:00～16:00

- ・総合的な学習における異文化交流活動の実践と可能性

中川 真規子

- ・教員の専門性の学習モデルと学校危機管理の実態解明

大西 健介

- ・合衆国の芸術文化施設と住民のエスニック構成

丸山 悦子

- ・自立的な学びの実現に向けた、初任教師の学習指導の模索ー子どもを「見る」ことを通してー

津村 優里菜

- ・日本人の学びについて＜再＞検討

青木 大輔

2025 年度

『文教大学の授業』執筆者紹介

第 92 号 教育学部 小林 稔 先生(既刊)

第 93 号 人間科学部 宮田 浩二 先生(既刊)

第 94 号 経営学部 首藤 洋志 先生(既刊)

第 95 号 健康栄養学部 長瀬 香織 先生

2025 年度 教育研究所スタッフ

所 長 手嶋 将博

研究部主任 萩原 敏行 研修部主任 小林 稔

事 務 程塚 聡美(春) 小薮由佳子(秋)